

## 静岡県の“子育てにやさしい企業” PickUp

静岡県内にある企業で子育てしながら活き活きと働く女性を紹介していきます。  
今、子育て中の方、これから子育て予定の方、必見です。



### 桃井さんの平均的な1日

6時	起床・朝食・洗濯など家事
7時45分	保育園へ送り出勤
8時30分	業務開始
	ご利用者の送迎など
13時	お昼休み
14時	カンファレンスなど
17時	退社 保育園をお迎え
18時	帰宅・夕食
19時	入浴・子供と遊びや本の読み聞かせなど
21時	子供の寝かしつけ
22時	就寝

「人が好き」だから。  
子育てと介護の仕事の相互関係が  
バランスよく、充実した毎日です。

### 社会福祉法人 八生会 特別養護老人ホーム 豊田一空園 もものい 桃井礼子さん

桃井さんプロフィール／平成15年に入社し、4年前まで介護担当で夜勤などを対応。平成19年に相談員として昼間勤務となり、36歳で初産。現在2歳4ヶ月になる男の子を持つ39歳ママ。

育休後の復職について不安はありましたか？

桃井さん「女性が多い職場なので、これまで育休経験者がたくさんいますし、育休を取る事や復職など、仕事面での心配は全くありませんでした。花木施設長も女性であり、子育ての大先輩でもあるので、女性の視点での制度の実運用とその改善にとても尽力くださっていますし、仲間も温かく、とても働きやすい職場環境です。復職してからは30分時間短縮の制度を使わせていただき、子育て手当として毎月1万円の補助もいただいています。復職して1年目は、息子を8時に保育園に送り、朝礼が終わってまもなく、9時に保育園からの発熱の連絡ですぐにお迎え、なんていうこともありましたが、2年目からは息子も環境に慣れ、成長とともにに急病などの連絡は少なくなりましたね。」

介護というお仕事と子育ての両立て大変なことはありますか？

桃井さん「皆さん、介護というとやはり大変な仕事のイメージがあるかもしれません。どの仕事も大変さは変わりないと思いますが、私も「人が好き」、職場の皆も「人が好き」なので、仲間や周りとの関わりを楽しみながら、長く勤められる仕事に感謝しています。子供とずっと向き合うだけの日々だとストレスを感じることもあるかと思いますが、入居者の方々と接することで息抜きになったり、仕事の苦労が子供で癒されたり、私にとってはその相互関係がとてもバランスよく、充実した日々を過ごしています。」

ご家族や周囲の協力はいかがですか？

桃井さん「主人はシフト制の勤務なのですが、ゴミ捨てや食事の支度、子供の世話など時間のあるときは色々とサポートしてくれます。実家は車で40分程度の場所なので、研修のある日や土曜日の午後のお迎えを母にお願いしています。息子にとっても祖父母との関わりが大切だと思いますし、とにかく自分ひとりで全て背負わないように心がけ、周

りの協力は感謝し、助けてもらっています。」

将来の夢を教えてください。

桃井さん「現在、介護福祉士とケアマネジャーの資格を持っているのですが、社内でのキャリアパス制度や、人材育成システムが充実していますので、より上の社会福祉士を目指したいと思っています。」

これから仕事をしたい、復職しようと思っている女性に向けてメッセージをお願いします。

桃井さん「辞めるのはいつでもできるから、やりたいことをやってみる。あまり気負わない気持ちで挑戦してみたらいいと思います。家庭や職場環境も都度変化していくので、働き方もフレキシブルに考えて、これからも柔軟に対応していきたいですね。」



### 社会福祉法人 八生会 特別養護老人ホーム 豊田一空園 TOPの声



施設長  
花木君子氏

#### 働きがいが生きがい。共に助け合い、共に生きる職場環境づくりを目指します。

女性が多い職場で、施設では67名中約8割が女性。八生会全体で、ここ3年で23名が育休取得をし、時短などで復職しています。子育て手当でや定年後の再雇用制度、現在建設中の新施設では企業内保育園の併設も予定。また、人材育成や資格取得補助など職場環境も整え、男女共にできるだけ働きやすい環境づくりを目指しています。私自身も女性であり、家庭と仕事

の両立がまだまだ難しいという現実を感じています。仕事は社会と通じていることを実感しやすく、働きがいが生きがいにつながっていると思います。私どもは、高齢者の方々の自立支援が仕事ですが、私たち女性自身も自立、自活していくことを目指す。それは、自分を支えてくれている方々と共に存していくことだと感じています。自分一人だけで頑張らざる、仲間と助け合い共に生きるこ

法人プロフィール／昭和59年に設立、浜松市東部地区にはじめての老人福祉施設として開設され、現在4つの介護老人施設を運営。一つ空のもと、全ての人が安心して生活できる社会を目指す。